

病院歯科に対するアンケート調査のまとめ

かかりつけ歯科医の支援体制および病診連携を推進するために、新潟県内で対象となる 59 病院歯科に対してアンケート調査し、回収率は 35 病院 57.6%であった。

対象病院の開設者は、医療法人 10 病院、公立（県立・市町村）9 病院、厚生連 8 病院が多く、病床数は、一般病床 200 床以上は 21 病院、200 床未満は 10 病院（2 大学附属病院を含む）、未回答 4 病院であった。対象病院の標榜診療科では、内科 86%、外科 77%、整形外科 71% が開設されている。病診連携については大学附属病院を除く 33 病院について調査した。病診連携をシステムとして実施しているのは 5 病院（15%）、実質的に実施しているのは 16 病院（49%）であり、64%の病院では病診連携を何らかの形態で実施している。

1. 病院歯科に関する事項

1) 病院歯科の概要

病院歯科の標榜では、歯科が 77%、歯科口腔外科 46%、小児歯科、矯正歯科 11%である。常勤歯科医師数は、1 名 15 病院（44%）、2 名 7 病院（21%）、0 名（非常勤のみ）7 病院（21%）であり、常勤歯科衛生士がいない病院が 9 病院（26%）ある。診療内容は、一般歯科中心 20 病院（59%）、中間型 9 病院（27%）、口腔外科中心が 4 病院（12%）であった。

2) 診療実績

過去 1 年間の初診患者数は、19 病院歯科で平均 1121.1 名、最大 4961 名であり、入院患者数については、平均 42.8 名、最大 340 名であった。紹介率が 20% 未満の病院歯科は 15 病院（79%）で、平均 13.1%であった。院内依頼は、14 病院歯科で平均 36.2%であった。

3) 歯科の救急体制

病院歯科が受け入れるべき救急処置は、外傷（93.5%）、顎炎・蜂窩織炎などの炎症（87.1%）などの口腔外科的疾患が多くあげられている。歯科診療所での偶発症は 71.0%であった。また、23 病院歯科（68%）で救急患者を受け入れており、その内容は、歯痛（51%）が最も多く、次いで外傷（22%）、顎炎・蜂窩織炎などの炎症（21%）であった。救急車で搬送があったのは 5 病院であった。

4) 歯科の病診連携

歯科の病診連携については、地区歯科医師会と取り決めを行っているのは 1 病院（2.9%）、取り決めはないが実質的には行っている 16 病院（47.1%）であり、50%の病院においては病診連携が行われている。

病・診の機能分担は、「連携」の前提としてぜひ必要であるとする回答が 29.4%、必要と思うが実際には難しいとする回答が 53.0%を占めている。

紹介患者は、0 名から 1228 名までであるが、一部の病院歯科に集中する傾向があり、紹介患者の内容は、口腔外科的疾患が多くなっている。

生涯研修を何らかの形態で行っているのは 5 病院歯科（14.7%）で、29 病院歯科（85.3%）は行っていない。

5) 在宅歯科診療

病院歯科で在宅診療を実施しているのは、6 病院（17.6%）であり、その後方支援を実施しているのは 3 病院（10.7%）と少ない。

6) 病院歯科の意識

病院歯科が受け入れるべき救急処置について、病院歯科では抜歯後出血が多いが、かかりつけ歯科医では誤嚥・誤飲、

夜間・休日の救急処置を多くあげている。

病診連携の際の機能分担は、病院歯科が「必要と思うが実際には難しい」とする回答が多くなっているのに対して、かかりつけ歯科医では「連携の前提としてぜひ必要」としており、両者間で機能分担の推進に対して意見が異なっているが、機能分担は両者共に必要とする考えが多い。

病院歯科が備えるべき機能として、全疾患を有し医科との連携が必要な患者への対応(85%)、口腔外科的疾患患者への対応(77%)が多くあげられているが、病診連携の1つである医療機器の共同利用は32%、研修制度は18%である。病院歯科の機能に対しては、病院歯科とかかりつけ歯科医ではほぼ一致している。

2. 地域医療支援病院の候補について

地域医療支援病院の要件には、病床数、救急体制、病診連携、院外医師の診察、研修会の開催、医療機器の共同利用、連携ベッドなどがあげられているが、今回のアンケート調査で要件を満たすと考えられるのは1病院にしか過ぎない。そこで①200床以上、②2次、または3次の救急医療を実施、③病診連携を実施しているの3項目を満たす14病院を仮に「地域医療支援病院候補病院」(以下「候補病院」と呼ぶ)として検討した。

候補病院は9保健医療圏に1から3病院あり、14病院中公立(県立、市町村立)病院が5病院、厚生連病院が4病院を占めている。

標榜科名では、候補病院が歯科口腔外科単独または併記するのが79%であるのに対し、非候補病院では歯科単独を標榜するものが67%であった。

常勤歯科医師数では、候補病院が1名ないし2名であるのに対し、非候補病院では、非常勤ないし1名が多い。

処置内容では標榜科が示すように、候補病院では口腔外科中心と中間型が64%に対し、非候補病院では一般歯科中心が78%であった。

紹介率は、候補病院と非候補病院ではほぼ同様であるが、院内紹介は非候補病院で多い。救急体制では、救急患者を受け入れているのは候補病院で93%あるのに対し、非候補病院では44%であった。

D. 考察

1. かかりつけ歯科医に対するアンケート調査の考察

1) かかりつけ歯科医機能

かかりつけ歯科医機能については木村恵子らの機能項目と区分の検討がなされ、利便性・快適性、包括性、対話性、継続性、専門性に分類された19項目の質問が示された。今回のアンケート調査では、19項目の設問を設定し、かかりつけ歯科医の自己評価、機能の認識等について行った。

住民の求めるかかりつけ歯科医機能の現状について、かかりつけ歯科医からみた自己評価の結果では、「優れている」、「やや優れている」と回答した者が多い(50%以上)のは、設問の7-1 通院しやすい条件が整っている、7-2 料金を明確に説明、7-5 衛生的で快適な診療室を整える、7-11 患者の訴えや希望をよく聞く、7-12 相談の懇切丁寧に対応、7-13 患者が納得するまで説明、7-16 カルテをいつでも活用、7-18 高次の治療が必要な患者に対して紹介できる専門医療機関があるの8項目であった。それに対し、少なかった(50%以下)のは、7-3 時間と回数の配慮、7-4 夜間と休日の対応、7-6 遅い時間までの受付、7-7 予防処置や保健指導を積極的に行う、7-8 訪問診療を行う、7-9 病気や障害のある患者への対応、7-10 家族全員への対応、7-14 定期的な検診や継続的な指導管理、7-15 患者が重篤な病気や障害になっても継続して対応、7-17 研鑽に努める、7-19 地域保健医療福祉サービスの熟知と連携・調整の11項目項であった。また、かかりつけ歯科医の将来に向けて最も重要な機能に対する回答では、1位；予防処置や保健指導を積極的に行う、2位；訪問診療を行う、3位；家族全員への対応、4位；定期的な検診や継続的な指導管理、5位；地域保健医療福祉サービスの熟知と

連携・調整であった。自己評価で「優れている」、「やや優れている」で多かった(50%以上)項目は、将来に向けて重要と思われる1位から5位の項目は一致せず、少なかった(50%以下)項目が1位から5位にあげられている。これは現在の自院の状況には満足せず、さらに今後、予防・保健指導や在宅診療、高齢者、障害者への対応など、社会が要求しつつあるサービスを取り入れることを認識しているものと考えられる。

病院歯科の歯科医師が考えるかかりつけ歯科医の機能として重要なもの項目として、定期的な検診や継続的な指導管理、家族全員への対応、予防処置や保健指導を積極的に行うなどが高位にあげられている。この項目は、かかりつけ歯科医の自己評価では「優れている・「やや優れているが少ない(50%以下)項目であり、病院歯科の歯科医師は、かかりつけ歯科医に継続性や包括性を望んでいるものと考えられる。また、この項目で、かかりつけ歯科の将来に向けての重要な機能とを比較すると、一致するところがほとんどなく、双方の機能分担についてコンセンサスをはかる必要が示唆される。

2) 病診連携の認識

病診連携を推進する際、病・診の機能分担が前提として必要と思うかかりつけ歯科医は86.0%を占め、病診連携を推進する上でその前提として機能分担が必要との認識が定着しているものと思われるが、必要と思うが難しいが33.8%が含まれている。

病院歯科の調査においては、連携の前提としての機能分担が必要であるとの回答は82.4%であり、しかし、その中には必要と思うが難しいが53.0%が含まれている。

病診連携の必要性に対しては、双方ともに必要性を認識しているが、実際行

うには難しいとの回答がかかりつけ歯科医で 33.8%，病院歯科では 53.0%を占めている。前項でも、かかりつけ歯科医の機能について、かかりつけ歯科医と病院歯科の歯科医では異なっており、病院歯科の機能を明確にしていく必要があり、明確にすることにより病・診の機能分担が推進されるものと考えられる。

3) 病診連携の現状

他の医療機関等からかかりつけ歯科医への患者紹介や処置依頼の紹介元をみると、「医科診療所・病院」が 37.6%，「歯科診療所」32.55%，「2次・3次の歯科医療機関」23.0%の順であった。

医科診療所・病院が 37.6%と最も多く、次いで歯科診療所 32.5%であった。高齢化や疾患の多様化により歯科と医科、歯科診療所の診・診連携がさらに増えることが予想されるので、診・診連携システムの推進は極めて重要であり、今後推進されるべき課題と思われる。

診療室における今後の情報公開については、「かかりつけ歯科医機能情報」が 49.5%，「診療所の施設設備情報」25.3%であった。

かかりつけ歯科医機能情報（在宅、障害者等）が半数と最も高いことは、介護保険制度の施行とも相まって、今後医療消費者へのサービス提供の内容として在宅診療、障害者や高齢者への対応の充実意識の高さが示されたものと考えらる。

かかりつけ歯科医から病院歯科への紹介をみると、90.9%のかかりつけ歯科医はおおよそ決まった紹介病院をもっており、医療圏別で最も高いのは柏崎、糸魚川の両医療圏(100%)で、最も低いのは村上保健医療圏(70%)であった。

紹介先病院歯科の保健医療圏で最も多いのは新潟保健医療圏(62.4%，回答なしを除く)と圧倒的に多く、次いで長岡(9.9%，回答なしを除く)、上越(8.6%，

回答なしを除く)と続いている。また、紹介先病院では、大学附属病院が 40.7%，病院歯科 25.2%であり、紹介先は 2 施設ある大学附属病院と特定の病院歯科に集中する傾向にある。

かかりつけ歯科医が紹介病院を決めている主な理由は、「基幹病院・中心的病院である」が 43.7%で最も高く、「同窓あるいは知り合いの医師、歯科医師がいる」35.8%と続き、「優れた専門医やスタッフがいます」28.1%と比較的低い。紹介病院を決めていない理由としては、「紹介システムがない」が 60%，「近隣に適切な病院歯科がない」20%があげられている。

このように大学附属病院と特定の病院歯科に紹介・診療依頼が集中する傾向にあるのは、各二次保健医療圏内に充実した医療機能を持つ病院歯科が少ないためと考えられ、今後病院歯科の機能の充実が機能分担、病診連携に繋がるものであり、その充実が望まれる。

患者の紹介方については、「自院独自の紹介状を使う」が 61.91%，「病診連携専用の紹介状を使う」が 35.7%で、紹介状を使用するかかりつけ歯科医は 97.6%と文書による患者の診療情報を的確に伝達できる紹介方法が定着している。これは社会保険診療報酬の診療情報提供料の算定要件が大きく影響しているものと考えられる。

紹介した患者について、病院歯科からの報告があるのは 96.6%であり、紹介した患者の 90.5%は紹介元に戻るから、病院歯科の対応は確立されている。

4) 病院歯科との連携システムについて かかりつけ歯科医の評価

病院歯科との連携システムの満足度は、患者紹介システムが他のシステムに比べ 29.8%と高くなっている。研修システム 7.8%；在宅（往診）ケアの後方支

援システム 6.8%、障害者歯科医療の後方支援システム 8.0%、1次歯科救急医療の後方支援システム 11.4%は満足度が低い。各二次保健医療圏別では、各項目で新津、新潟、巻・三条の隣接保健医療圏と柏崎保健医療圏で満足度が高く、医療圏による格差がある。

かかりつけ歯科医に、今後増加するであろう在宅医療、障害者歯科治療の後方支援に対する不満が多くみられる。かかりつけ歯科医の在宅往診治療で可能な処置範囲を越えるような症例の場合、入院・全身管理下での処置が必要となる。また、障害者治療でも症例により全身麻酔科での処置が必要となる。これらに対する後方支援システムの構築が望まれているものと考えられる。研修システムについても地域支援病院の機能として必要であり、問題点を洗い出す必要がある。

5) かかりつけ歯科医が病診連携をするうえでの病院歯科に望む機能

かかりつけ歯科医が病診連携をするうえで病院歯科に望む機能は、口腔外科疾患、全身疾患患者、緊急処置、口腔外科外来小手術、感染症患者の歯科治療の順に高い。反対に歯科用のインプラント、歯科医師の研修制度、顎関節 MRI・CT等の検査、口腔外科等の障害教育、全身管理を要する患者の順に低い回答であった。顎関節の MRI・CT等の検査は近年有用性が認識され、大学教育でも取り入れられており、歯科医師国家試験にも出題されることもある。医療技術の進歩に伴い医療従事者の生涯教育は必要不可欠なものである。さらに、地域の医療従事者の研修、施設・設備の共同利用は地域医療支援病院の設置基準の要件であり、これらが下位に位置するのかの検討が必要となる。

かかりつけ歯科医に対して病院歯科が備えるべき機能として、「全疾患を有し

医科との連携が必要な患者」が(85%)、「口腔外科的疾患患者」(77%)、「口腔外科外来小手術」と「緊急処置(誤飲・誤嚥)」(62%)の順であった。これらの項目はかかりつけ歯科医では対処が難しいこともあり、病院歯科の機能として重要な機能と位置づけられ、順番こそ異なるがかかりつけ歯科医の望む機能と一致している。また、かかりつけ歯科医が病院歯科に望む救急処置と病院歯科が受け入れるべき救急処置では、「診療室での偶発症」、「外傷顎炎などの炎症」等ほぼ一致している。

かかりつけ歯科医と病院歯科との関わりは、「患者紹介のみ」が91.8%と高く、その他の病院機能としての研修制度、検査機器等の利用、共同治療については関わりが低い。

救急時の対応については、80.1%のかかりつけ歯科医が個人的に対応しており、救急時の医療体制への要望として「病院歯科による対応」が41.2%であった。各医療圏で病診連携室の設置や緊急情報システムはほとんど整備されていない現状で、「病診連携室の利用」33.2%、「緊急情報システム」21.4%という回答があるのは、救急医療体制に対する支援を望むためと考えられる。

病院歯科以外への診療科への紹介・依頼は、内科が64.1%と最も多く、次いで隣接領域である耳鼻咽喉科が47.6%と高率であった。高齢化、疾患の多様化、在宅往診の増加に伴い、今後の他科との連携が必然的に増えるものと思われる。

6) 新潟県のかかりつけ歯科医

良質の歯科医療サービスを提供するためにかかりつけ歯科医は種々の努力を払っているが、自院におけるかかりつけ歯科医機能の自己評価で、便利性、快適性については「優れている」、「ややすぐ優れている」との評価が多いが、包括生、

継続性、専門性に対する評価では「普通」、「やや劣っている」との評価が多い傾向にあった。

病診の機能分担に対しては多くのかかりつけ歯科医が必要性を認めている。しかし、病診の連携の要点である病院歯科との関わりでは、患者の紹介のみとする回答が多く、紹介以外の連携は進んでいないと考えられる。

新潟県は 13 の保健医療圏に分けられているが、各医療圏において高次の医療機関としての機能を有する病院歯科が少なく、2 施設ある大学附属病院に紹介・処置依頼患者が集中する傾向にある。また、大学附属病院への紹介(複数回答)では、口腔外科が 93.3%と最も多くなっているが、歯科矯正科 40.4%、歯科補綴科 24.5%、小児歯科 18.8%、歯科保存科 13.2% など歯科の診療科に対する紹介・処置依頼もある。これは歯科疾患の多様化と患者のニーズによるのと考えられる。今後各二次保健医療圏においてかかりつけ歯科医および患者のニーズに答えられる医療施設を充実し、病診の機能分担・連携を推進することが必要であるものと考えられる。

2. 病院歯科に対するアンケート調査の考察

新潟県は 13 の二次保健医療圏に分けられ、各保健医療圏に 1 から 17 の病院歯科がある。しかし、病院歯科の機能として、入院が必要な患者への対応、救急患者への対応、紹介患者への対応、病診連携などの機能を有する病院歯科は、今回のアンケート調査の結果から考えると 2 施設の大学附属病院を除くと限られた病院になる。かかりつけ歯科医のアンケートからも紹介先として大学附属病院が 40.7%と多く、病院歯科へは 25.2%となっている。地域医療支援病院の要件には、病床数、救急体制、病診連携、院外医師

の診察、研修会の開催、医療機器の共同利用、連携ベッドなどがあげられているが、今回のアンケート調査で要件を満たすと考えられるのは 1 病院にしか過ぎない。これは病院歯科のアンケート調査より伺われるように、かかりつけ歯科医の近隣に十分な機能を持った病院歯科が少ないことに起因するものと考えられる。病診連携の際の機能分担に関しては、病院歯科では「必要であるが難しい」との回答が多く、かかりつけ歯科医では「病診連携に際してぜひとも必要」との回答が多くあげられた。この相違は病診連携を推進するためには重要な課題となるため、かかりつけ歯科医(歯科医師会が中心になるものと思われる)と病院歯科でコンセンサスを早急にはかる必要がある。

今後、各保健医療圏で二次医療を完結することが求められていることや介護保険制度の施行により増加するであろう在宅歯科医療の支援体制、救急処置などかかりつけ歯科医および患者のニーズに答えられるような高次の病院歯科を各二次保健医療圏ごとに充実させる必要がある。

E. 結論

新潟県においてかかりつけ歯科医と病院歯科に対して、支援体制、病診の機能分担・連携を中心とするアンケート調査を行い、以下の結論を得た。

1. 病診の機能分担に関して、かかりつけ歯科医・病院歯科ともに必要であると認識されているが、その推進に対しては両方で意見が異なっており、コンセンサスをとる必要がある。
2. 病診連携に関しては、かかりつけ歯科医は病院歯科に患者の紹介をするのみとの回答が多く、さらに共同治療、研修、機器の共同利用等の連携も進んでいない。
3. 支援体制に関しては、入院が必要な患者、救急急患、紹介患者、病診連

携などの機能を有する二次医療が可能な病院歯科に限られており、大学附属病院に集中する傾向にある。各二次保健医療圏での支援体制は充分でない。

4. 良質な歯科医療サービスを提供するためには、かかりつけ歯科医の機能、病院歯科の機能をさらに高め、病診の機能分担・連携および支援体制を推進する必要がある。

F. 研究発表

なし

G. 知的所有権の取得状況

なし

「かかりつけ歯科医」の支援体制及び病診連携に関する
アンケート調査

1. 調査票
2. 集計表

厚生科学特別研究

「かかりつけ歯科医」の支援体制及び病診連携に関するアンケート調査

愛知県歯科医師会
会長 宮下 和人
厚生科学特別研究
主任研究者 坂井 剛

愛知県地域保健医療計画では、全県を8医療圏に区分し、それぞれの医療圏で1次・2次医療を完結することがもとめられております。

各医療圏における地域住民への適正な歯科医療を確保し、良質な歯科医療サービスの供給体制を整備強化するためには、1次医療を担当する一般歯科診療所と2次医療機能を有する病院歯科（歯科口腔外科）の位置づけと機能分担を明確にし、お互いの連携を促進させることが必要です。

第3次医療法改正が、平成10年4月1日より施行されましたが、なかでも地域医療支援病院制度の設置とかかりつけ歯科医の支援体制との関わりが、大変注目されるところであります。

「かかりつけ歯科医」と地域医療支援病院との機能分担・機能連携の推進による有効な支援体制を整備する必要があります。

そこで、県歯会会員各位を対象に病診連携の実態調査・かかりつけ歯科医の意識調査を実施させていただくことになりました。

お忙しいところ恐縮ですが、下記の要項に基づき調査にご協力をお願い申し上げます。

調査要項

1. 回収期限 平成10年 7月30日（木）（第3回地区歯科医師会会長会）

1. 回収方法 所属歯科医師会でとりまとめをお願いします。

医療圏

1. 名古屋医療圏名古屋市
2. 名古屋医療圏名古屋東部
3. 名古屋医療圏名古屋西部
4. 尾張西部医療圏
5. 尾張北部医療圏
6. 知多半島医療圏
7. 西三河南部医療圏
8. 西三河北部医療圏
9. 東三河平坦地医療圏
10. 東三河山間地医療圏

1. 回答記入方法 各頁右の回答欄に数字で回答。（ ）には具体的ご記入ください。
無記名により回収し、回答内容は秘密厳守致します。

1. このアンケートに関する問い合わせ先

愛知県歯科医師会事務局担当：総務課 林

住所：〒460-0002名古屋市中区丸の内三丁目5番18号

TEL：(052) 962-8020

回 答 欄	
1	

(1) 性別 1. 男 2. 女

2	
---	--

(2) 年齢 1. 30歳未満 2. 30～39歳 3. 40～49歳
4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70歳以上

3	
---	--

(3) 開業歴 1. 5年未満 2. 5～10年
3. 11～20年 4. 21年以上

4	
---	--

(4) 標榜科名 1. 歯科 2. 矯正歯科
3. 小児歯科 4. 歯科口腔外科

5	
---	--

(5) 認定医 1. 口腔病理医 2. 歯科保存医 3. 補綴歯科医
4. 口腔外科医 5. 矯正歯科医 6. 歯科放射線医
7. 小児歯科医 8. 歯周病医 9. 歯科麻酔医
10. その他 ()

(6) 所属歯科医師会名

6	
---	--

(7) 歯科医師が考えるかかりつけ歯科医機能について次の各項目について5段階評価で該当する番号を○で囲んでください。

1. 優れている 2. やや優れている 3. 普通 4. やや劣っている 5. 劣っている

7				
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.
1.	2.	3.	4.	5.

- 1) 交通の便がよい、駐車場があるなど通院しやすい条件が整っている
- 2) 保険診療を原則とし、私費の場合も料金は事前に明確に説明する
- 3) 時間や回数がかかりすぎないように配慮する
- 4) 緊急の時は夜間や休日でも対応する
- 5) 衛生的・快適に治療が受けられるよう診療室を整えている
- 6) 遅い時間まで受付している
- 7) 予防処置や保護指導を積極的に行う
- 8) 患者または家族からの求めに応じて訪問歯科診療を行う
- 9) 病気や障害のある患者にも対応できる
- 10) 子どもから高齢者まで家族全員に対応できる
- 11) 患者の訴えや希望を良く聞く
- 12) 歯科疾患や義歯等の相談に電話も含めて懇切丁寧に対応する
- 13) 処置、指導、薬剤等の内容を患者が納得するまで説明する
- 14) 定期的な健診や継続的な指導管理を行う
- 15) 患者さんが重篤な病気や障害になっても、継続して対応していく
- 16) 病歴（カルテ）を長期間保存し、いつでも活用できるようにする
- 17) 専門分野を明確に持ち、常に研鑽に努める
- 18) 高次の治療が必要な患者に対して紹介できる専門医療機関がある
- 19) 地域の保健医療福祉サービスを熟知し、連携・調整している

(8) 質問(7)で1)～19)のうち最も重要と思われるかかりつけ
 歯科医機能を5つ挙げて下さい。(重要な順で1位～5位まで)

8	
1位	
2位	
3位	
4位	
5位	

(9) かかりつけ歯科医の支援体制として次のうち何が必要と
 思いますか。(複数回答可)

1. 病診連携システム
2. 在宅医療支援システム
3. 福祉・保健施設との機能連携システム
4. 障害者への保健・医療・福祉の支援体制
5. 難病患者地域ケアシステム
6. 救急歯科医療体制
7. 医療情報システム
8. その他 ()

9	
---	--

(10) 「病院歯科(病)と開業歯科医師(診)の連携を推進する際、病・診
 の機能分担が必要である」ということについてどう思いますか。

1. 「連携」の前提としてぜひ必要である。
2. 必要と思うが実際には難しい。
3. 今のままでよい。
4. 必要とは思わない。
5. わからない。

10	
----	--

(11) これまでに、他の医療機関等から患者紹介や処置依頼があったその
 紹介元の内訳はいずれですか。

1. 歯科診療所
2. 2次・3次の歯科医療機関
3. 医科診療所・病院
4. その他 ()

11	
----	--

(12) あなたの診療室において、今後次のどの情報を公開すべきだと思
 いますか。(複数回答可)

1. 診療所の施設整備情報(スロープの有無等)
2. 医療検査機器の情報
3. かかりつけ歯科医機能情報(在宅、障害者診療等)
4. その他 ()

12	
----	--

(13) 病院歯科に紹介するのに、およそ決まった病院がありますか。

1. ある (病院名)
2. ない

13	
----	--

(13-1) (あるとお答えの方に) 紹介病院を決めている主な理由は次のうちいずれですか。(複数回答可)

1. 決まった紹介システムがある。
2. 地域の基幹病院または中心的な病院である。
3. 検査機器、入院設備等の医療設備が充実し、アメニティーが高い。
4. 優れた専門医やスタッフがいる。
5. 同窓あるいは知り合いの医師、歯科医師がいる。
6. 診療所に近く紹介しやすい。
7. 出身病院である。
8. 患者の希望による。
9. その他 ()

13-1	
------	--

(13-2) (ないとお答えの方に) 紹介病院を決めていない主な理由は次のうちいずれですか。(複数回答可)

1. 決まった紹介システムがない。
2. 近隣に適当な病院歯科がない。
3. ほとんど紹介の必要がない。
4. その他 ()

13-2	
------	--

(14) 患者を紹介するとき、どのような方法で行いますか。

1. 病診連携専用の紹介状を使う。
2. 自院独自の紹介状を使う。
3. 電話で連絡するだけのことが多い。
4. 名刺の裏へ書くなど簡単なものを渡す。
5. その他 ()

14	
----	--

(15) 紹介した患者について、紹介病院から報告はありますか。

1. ある
2. ほとんどない

15	
----	--

(16) 紹介した患者は、先生の元に戻りますか。

1. だいたい戻る
2. ほとんど戻らない
3. わからない

16	
----	--

(17) 病院歯科との連携システムはうまくいっていると思いますか。

3段階評価で該当する番号を○で囲んでください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 不満である

- 1) 患者紹介システム
- 2) 研修システム
- 3) 在宅ケア(往診)の後方支援システム
- 4) 障害者歯科医療の //
- 5) 1次歯科救急医療の //

17		
1.	2.	3.
1.	2.	3.
1.	2.	3.
1.	2.	3.
1.	2.	3.

(18) かかりつけ歯科医として、病診連携をするうえで病院歯科にどのような機能を望みますか

(複数回答可)

1. 口腔外科外来小手術（抜歯を含む）
2. 緊急処置（誤飲，誤嚥）
3. 感染症患者の歯科治療
4. 障害者歯科
5. 入院麻酔下での心身障害者・非協力な小児の歯科治療
6. 歯科用インプラント
7. 顎関節症
8. 口腔外科的疾患患者（顎顔面外傷、重度の口腔炎症、唾液腺疾患、口腔領域の腫瘍及び嚢胞性疾患等）
9. 全身疾患を有し医科との連携が必要な患者（循環器、呼吸器、内分泌、アレルギー体質などを有する患者における侵襲をとまなう歯科治療）
10. 在宅寝たきり老人および心身障害者の全身管理を要する者の支援
11. 口腔疾患に起因する言語障害患者 特に口唇口蓋裂患者の治療
12. 顎関節疾患のMRI、インプラントの術前のCT、等の検査
13. 口腔外科、全身管理、救急処置等の生涯教育
14. 歯科医師の研修制度
15. その他（ ）

18	
----	--

(19) あなたと病院歯科とは、どの様に関わっていますか。

1. 患者紹介のみ。
2. 症例検討会や研修会に参加したことがある。
3. 高額医療機器や外来検査部門を利用したことがある。
4. 共同治療に参加したことがある。
5. その他（ ）

19	
----	--

(20) 病院歯科に望む救急処置は？（複数回答可）

1. 夜間、休日の一般歯科処置（歯髄炎など）
2. 歯科診療所での偶発症。
3. 誤飲・誤嚥
4. 抜歯後出血
5. 顎炎・蜂窩織炎などの炎症
6. 外傷
7. その他（ ）

20	
----	--

(21) 救急時にどのように対応されましたか

1. 個人的に対応した。
2. 地区歯科医師会のシステムにより対応した。
3. 病院の登録医になっており、病院の病診連携システムを利用した。
4. その他（ ）

21	
----	--

(22) 救急時にどのような救急医療体制を望みますか

1. 病診連携室の利用
2. 病院歯科による対応
3. 救急情報システムの利用
4. 診診連携による対応
5. その他 ()

22	
----	--

(23) 今までに病院歯科以外のどの診療科に紹介・依頼したことがありますか。

(複数回答可)

1. 内科 (循環器・消化器・呼吸器)
2. 外科
3. 小児科
4. 整形外科
5. 脳神経外科
6. 産婦人科
7. 眼科
8. 耳鼻咽喉科
9. 形成外科
10. 皮膚科
11. 泌尿器科
12. 理学診療科
13. 放射線科
14. 麻酔科
15. ICU
16. NICU
17. CCU
18. その他 ()

23	
----	--

(23-1) (あるとお答えの方に) どのような方法で行いましたか。

1. 地区歯科医師会のシステムにより対応した。
2. 病院の登録医になっており、病院の病診連携システムを利用した。
3. 自作の文章による。
4. 口頭又は電話で行っている。
5. 患者を通じて口頭で行っている。

23-1	
------	--

ご協力ありがとうございました。

医療圏（調査票回答） [1/2]

名古屋市	名古屋東部	名古屋西部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河南部	西三河北部	東三河平坦	東三河山間
577 25.1	118 5.1	117 5.1	133 5.8	226 9.8	100 4.3	189 8.2	79 3.4	172 7.5	11 0.5

医療圏（調査票回答） [2/2]

回答なし	合計
579 25.2	2,301 100.0

※ $df=9$ $\chi^2=1245.3287$ 0.5%水準で有意

(1)性別

男性	女性	回答なし	合計
2,211 96.1	83 3.6	7 0.3	2,301 100.0

※ $df=1$ $\chi^2=1974.0122$ 0.5%水準で有意

(2)年齢

30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	回答なし	合計
9 0.4	544 23.6	992 43.2	497 21.6	143 6.2	108 4.7	8 0.3	2,301 100.0

※ $df=5$ $\chi^2=1786.9032$ 0.5%水準で有意

(3)開業歴

5年未満	5～10年	11～20年	21年以上	回答なし	合計
278 12.1	447 19.4	893 38.8	672 29.2	11 0.5	2,301 100.0

※ $df=3$ $\chi^2=375.7223$ 0.5%水準で有意

(4)標榜科名

歯科	矯正歯科	小児歯科	歯科口腔外科	回答なし	回答者数
2,239 97.3	307 13.3	867 37.7	63 2.7	11 0.5	2,301 100.0

※ A04は4個までの複数回答。
※ 複数回答の設問のため検定不能

「かかりつけ歯科医」の支援体制及び病診連携に関するアンケート

(5) 認定医 [1/2]

口腔病理医	歯科保存医	補綴歯科医	口腔外科医	矯正歯科医	歯科放射線医	小児歯科医	歯周病医	歯科麻酔医	その他
0	28	97	27	50	4	51	14	13	194
—	1.2	4.2	1.2	2.2	0.2	2.2	0.6	0.6	8.4

(5) 認定医 [2/2]

回答なし	回答者数
1,850	2,301
80.4	100.0

※ A05は5個までの複数回答。
 ※ 複数回答の設問のため検定不能

(7-1) 通院しやすい条件が整っている

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
602	501	931	150	55	62	2,301
26.2	21.8	40.4	6.5	2.4	2.7	100.0

※ $df=4$ $\chi^2=1123.4185$ 0.5%水準で有意

(7-2) 料金を明確に説明する

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
926	512	718	48	25	72	2,301
40.2	22.3	31.2	2.1	1.1	3.1	100.0

※ $df=4$ $\chi^2=1445.4572$ 0.5%水準で有意

(7-3) 時間と回数の配慮

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
416	505	1,109	150	44	77	2,301
18.1	21.9	48.2	6.5	1.9	3.3	100.0

※ $df=4$ $\chi^2=1558.3696$ 0.5%水準で有意

(1) 性別

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
431	457	820	284	237	72	2,301
18.7	19.9	35.7	12.3	10.3	3.1	100.0

※ $df=4$ $\chi^2=471.3926$ 0.5%水準で有意

(7-5)衛生的で快適な診療室を整える

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
558 24.3	608 26.4	948 41.2	85 3.7	31 1.3	71 3.1	2,301 100.0

※ $df=4$ $\chi^2=1330.3543$ 0.5%水準で有意

(7-6)短い時間まで受付している

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
175 7.6	308 13.4	1,092 47.5	383 16.6	264 11.5	79 3.4	2,301 100.0

※ $df=4$ $\chi^2=1230.6058$ 0.5%水準で有意

(7-7)予防処置や保障指導を積極的に行う

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
473 20.6	591 25.7	939 40.8	174 7.6	48 2.1	76 3.3	2,301 100.0

※ $df=4$ $\chi^2=1117.2719$ 0.5%水準で有意

(7-8)患者または家族からの要求に応じて訪問歯科診療を行う

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
455 19.8	519 22.6	832 36.1	239 10.4	175 7.6	81 3.5	2,301 100.0

※ $df=4$ $\chi^2=609.6306$ 0.5%水準で有意

(7-9)病気や障害がある患者にも対応できる

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
330 14.3	479 20.8	977 42.5	327 14.2	113 4.9	75 3.3	2,301 100.0

※ $df=4$ $\chi^2=946.8841$ 0.5%水準で有意

(7-10)子供から高齢者まで家族全員に対応できる

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
606 26.3	638 27.7	838 36.4	109 4.7	38 1.7	72 3.1	2,301 100.0

※ $df=4$ $\chi^2=1112.9672$ 0.5%水準で有意

「かかりつけ歯科医」の支援体制及び病診連携に関するアンケート

(7-11) 患者の訴えや希望をよく聞く

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
747 32.5	753 32.7	660 28.7	55 2.4	16 0.7	70 3.0	2,301 100.0

※ $df=4$ $\chi^2=1273.9283$ 0.5%水準で有意

(7-12) 相談を親切丁寧に対応する

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
585 25.4	690 30.0	856 37.2	78 3.4	19 0.8	73 3.2	2,301 100.0

※ $df=4$ $\chi^2=1267.3007$ 0.5%水準で有意

(7-13) 患者が納得するまで説明する

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
519 22.6	670 29.1	918 39.9	102 4.4	21 0.9	71 3.1	2,301 100.0

※ $df=4$ $\chi^2=1294.2825$ 0.5%水準で有意

(7-14) 定期的な健診や継続的な指導管理を行う

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
471 20.5	623 27.1	854 37.1	221 9.6	57 2.5	75 3.3	2,301 100.0

※ $df=4$ $\chi^2=899.2830$ 0.5%水準で有意

(7-15) 患者が重篤な病気や障害になっても、継続して対応したい

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
296 12.9	439 19.1	1,074 46.6	315 13.7	92 4.0	85 3.7	2,301 100.0

※ $df=4$ $\chi^2=1262.1182$ 0.5%水準で有意

(7-16) カルテをいつでも活用できるようにする

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
620 26.9	555 24.1	926 40.2	105 4.6	17 0.7	78 3.4	2,301 100.0

※ $df=4$ $\chi^2=1288.5047$ 0.5%水準で有意

(7-17) 専門分野を明確に持ち、常に研鑽に努める

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
370	486	1,086	219	64	76	2,301
16.1	21.1	47.2	9.5	2.8	3.3	100.0

※ df= 4 $\chi^2=1380.7281$ 0.5%水準で有意

(7-18) 高次の治療が必要な患者に対して紹介できる専門医療機関がある。

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
629	583	818	142	55	74	2,301
27.3	25.3	35.5	6.2	2.4	3.2	100.0

※ df= 4 $\chi^2= 978.7544$ 0.5%水準で有意

(7-19) 地域の保険医療福祉サービスを熟知し、連携・調整している

優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	回答なし	合計
319	399	1,110	293	102	78	2,301
13.9	17.3	48.2	12.7	4.4	3.4	100.0

※ df= 4 $\chi^2=1351.7076$ 0.5%水準で有意

(8) 重要な歯科医機能 1位 [1/3]

通院しやすい条件	料金を事前に説明	時間の回数 の配慮	夜間や休日 でも対応	快適な診療 室の整備	遅い時間 まで受付	予防処置 ・保護指導	訪問歯科 診療	障害等ある 患者の対応	家族全員に 対応
218	90	36	262	71	13	142	97	38	323
9.5	3.9	1.6	11.4	3.1	0.6	6.2	4.2	1.7	14.0

(8) 重要な歯科医機能 1位 [2/3]

訴えと希望 をよく聞く	相談を懇切 丁寧に説明	納得するま で説明	定期的な 健診など	患者に継続 して対応	病歴(病状) を長期保存	常に研鑽に 努める	高次治療 の紹介	地域医療サ ービスを熟知	回答なし
350	50	55	143	23	60	49	80	62	139
15.1	2.2	2.4	6.2	1.0	2.6	2.1	3.5	2.7	6.0

(8) 重要な歯科医機能 1位 [3/3]

合計
2,301
100.0

※ df= 18 $\chi^2=1628.9306$ 0.5%水準で有意

(8) 重要な歯科医機能 2位 [1/3]

通院しやすい条件	料金を事前に説明	時間の回数 の配慮	夜間や休日 でも対応	快適な診療 室の整備	遅い時間 まで受付	予防処置 ・保護指導	訪問歯科 診療	障害等ある 患者の対応	家族全員に 対応
39	139	83	170	89	19	182	162	82	213
1.7	6.0	3.6	7.4	3.9	0.8	7.9	7.0	3.6	9.1

(8)重要な歯科医機能 2位 [2/3]

訴えと希望をよく聞く	相談を懇切丁寧に対応	納得するまで説明	定期的な健診など	患者に継続して対応	病歴(加齢)を長期保存	常に研鑽に努める	高次治療の紹介	地域医療サービスを熟知	回答なし
202	121	139	200	55	59	38	108	59	142
8.8	5.3	6.0	8.7	2.4	2.6	1.7	4.7	2.6	6.2

(8)重要な歯科医機能 2位 [3/3]

合計
2,301
100.0

※ $df=18$ $\chi^2=606.3844$ 0.5%水準で有意

(8)重要な歯科医機能 3位 [1/3]

通院しやすい条件	料金を事前に説明	時間の回数の配慮	夜間や休日でも対応	快適な診療室の整備	遅い時間まで受付	予防処置・保護指導	訪問歯科診療	障害等ある患者の対応	家族全員に対応
47	56	70	107	95	31	143	172	88	212
2.0	2.4	3.0	4.7	4.1	1.3	6.2	7.5	3.8	9.2

(8)重要な歯科医機能 3位 [2/3]

訴えと希望をよく聞く	相談を懇切丁寧に対応	納得するまで説明	定期的な健診など	患者に継続して対応	病歴(加齢)を長期保存	常に研鑽に努める	高次治療の紹介	地域医療サービスを熟知	回答なし
210	141	139	214	72	85	59	131	85	144
9.1	6.1	6.0	9.5	3.1	3.7	2.6	5.7	3.7	6.3

(8)重要な歯科医機能 3位 [3/3]

合計
2,301
100.0

※ $df=18$ $\chi^2=518.8113$ 0.5%水準で有意

(8)重要な歯科医機能 4位 [1/3]

通院しやすい条件	料金を事前に説明	時間の回数の配慮	夜間や休日でも対応	快適な診療室の整備	遅い時間まで受付	予防処置・保護指導	訪問歯科診療	障害等ある患者の対応	家族全員に対応
37	60	41	123	77	22	151	145	73	164
1.6	2.6	1.8	5.3	3.3	1.0	6.6	6.3	3.2	7.1

(8)重要な歯科医機能 4位 [2/3]

訴えと希望をよく聞く	相談を懇切丁寧に対応	納得するまで説明	定期的な健診など	患者に継続して対応	病歴(加齢)を長期保存	常に研鑽に努める	高次治療の紹介	地域医療サービスを熟知	回答なし
154	129	126	253	97	121	69	207	88	164
6.7	5.6	5.5	11.0	4.2	5.3	3.0	9.0	3.8	7.1

(8)重要な歯科医機能 4位 [3/3]

合計
2,301
100.0

※ $df=18$ $\chi^2=564.8676$ 0.5%水準で有意